

# 認知症コーナー



認知症にまつわる情報をわかりやすくお伝えするコーナーです。

今回のテーマは **認知症サポート養成講座**

認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解をもち、地域や職域で、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする人(サポーター)のことです。

**なんと！もう少いで1万人！**

恵庭市では、毎年小学生～大学生の学生から、一般市民の方まで、たくさんの方が受講しています。過去には、警察官や自衛隊員、郵便局員の方々も受けており、恵庭市では現在、約9,600人の方々がサポーターです。

**広げよう支えあいの輪！**

講座は90分で、無料で受講できます。受講後にお渡しするオレンジリングがサポーターの証です！

「家族が認知症となり、今後どう支えていくか考えたい」「認知症になっても変わらず集まれるサロンにしていきたい」など、認知症について学びたい方はぜひご連絡ください。

**一緒に認知症になっても住みやすいまちを目指しましょう！！**



奥宮

吉田

西村

高橋

越

南

碓井

石渡

お住まいの地域を担当する職員です

## 担当地区

有明町 大町 文京町  
牧場 盤尻 桜森  
恵央町 幸町 柏木町  
美咲野 桜町 駒場町  
白樺町 恵南

編集  
発行

恵庭市みなみ地域包括支援センター

**たよれーる みなみ ☎(0123)34-8467**

〒061-1423 恵庭市柏木町 429 番地 6 (特別養護老人ホーム“恵望園”内)

# たよれーるみなみだより 2020年度 秋号

## 民生委員・児童委員懇談会

～民生委員とたよれーる、顔の見える関係へ～

地域のみなさんの身近な相談相手として、“民生委員”の方々は活動されており、支援が必要な方(高齢者など)を専門機関につなぐ等の役割も担っていただいています。高齢者を総合的に支援する“たよれーる”と、“民生委員”の日々の連携は、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』には、欠かすことができません。

10月1日、毎年開催している『たよれーるみなみ圏域 民生委員・児童委員懇談会』を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染対策に留意しながら、「コロナ禍における民生委員の活動」「たよれーるとの連携」について、たよれーるの職員からお話させていただきました。その後は例年のグループ交流は控え、全体での情報交換という形ですすめさせていただきました。「自分たちが移してしまったり、運んでしまったり。」という不安や、「コロナ自粛による高齢者への影響の心配」の課題がある等、共有を図りました。

直接会ってお話させていただくことで、お互いの考えを知ることができます。このような会を通して、“民生委員”と“たよれーる”の職員が顔の見える関係となり、より一層の連携体制の強化につながればと願っております。

たよれーるでは、今後も地域のみなさんが安心して暮らすことができるよう、様々な取り組みをすすめていきますので、よろしくお願いいたします。



## 新しい職員の紹介

8月1日より、たよれーる みなみに配属されました。

保健師の <sup>こし</sup>越 <sup>まいこ</sup>麻衣子 と申します。

行政の保健師、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の勤務を経験しましたが地域に深く関わることができる仕事ができたらと思い、たよれーるみなみで仕事をさせていただくこととなりました。早く地域の様子に慣れて、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

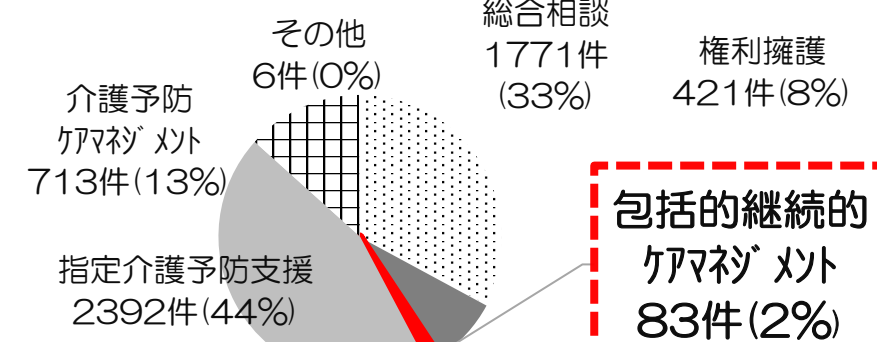


たよれーるって  
どんなことをしているの？

パート3

### 相談内容の内訳

前号に引き続き、前年度の相談内容の内訳から、たよれーるの相談対応についてご紹介させていただきます。



### “包括的・継続的ケアマネジメント”とは？

高齢者等が住み慣れた地域で継続して暮らすことができるように、多職種や多機関、地域住民のネットワークをつくりながら、様々な問題を解決するお手伝いを行う仕事です。

### 例えばこんな相談…

ケアマネジャー、関係事業所、地域住民などから…

「一人暮らしで高齢。問題も多く、今後の生活など色々心配。」

「ご本人の拒否が強く、必要な支援につなげることができずに困っている。」

「今の支援で本当に良いのか悩んでいる。」

### 相談の内容に合わせて…

＊話し合いの場（地域ケア会議等）を設けます。

＊ケアマネジャーへ対して、同行訪問・家族支援・他機関連携・ケアプランの助言などのサポートを行います。

＊支援困難事例への助言、指導を行います。

Aさんを支えるために、地域の方々とつながりをもりたい。



Bさんらしい自立した生活をするにはどうしたら？

Cさんの支援について、一人では抱えきれなくなってきた。

## どうしたらいいの？

通いの場での

## 感染対策の出前講座



現在、コロナ禍における地域のサロンや老人クラブの活動について「安心して活動するためにはどうしたらよいか？」と悩んでいるところも少なくないと思います。この度、「皆さんに正しい知識を知ってほしい」というサロン代表者の思いから、百歳体操サロン『天真らんらん』さんでコロナウイルス感染予防の出前講座を行いました。

今回は、えにわ感染対策チーム ことりんず 樋口さん（恵み野訪問看護ステーション「はあと」・所長）に、正しいマスクの着用・手洗い方法・換気についてお話していただきました。手洗いチェッカーの体験では、普段の手洗いでは意外と手に汚れが残っていることを実感した方もおり、感染予防の重要性やポイントを確認できるよい機会になったと思います。

コロナ禍での活動を再開、継続していく上では、一人一人が正しい感染対策の知識を得ることが大切です。

ご依頼に応じて出前講座をお受けいたしておりますので、ぜひご相談ください。

